

## 市民との意見交換会会議録

報告日及び会議録作成人 平成 26 年 3 月 25 日

菊田 広嗣

三瓶 裕二

1. 日時 平成 26 年 3 月 25 日（火）午後 6 時 30 分～
2. 場所 白沢公民館 和田分館
3. 出席議員 作田博 渡辺忠夫 渡辺秀雄 根本七太  
三瓶裕司 菊田広嗣 （6 名）
4. 出席市民 15 名
5. 会議経過

[午後 6 時 30 分開会]

◇渡辺（秀）議員 開会宣言

◇作田議長 挨拶

開催趣旨として、本宮市議会として、初めての試みであり、小学校区単位の 7 会場で実施を計画し、議員の割り振りをした等。

また、議会としての開催であり、議員には、執行権はないので、あれをやれとかいわれても、即答できないが皆さんの意見をまとめて議会として市に対応していく。議員個々人の意見は差し控えさせていただきたい等や、意見交換会の進め方の留意点などを踏まえて、挨拶を行った。

（その後、出席議員が各自氏名、所属常任委員会を自己紹介、事務局の自己紹介を行い報告に入る）

報告に入る

【報告】

◇ 渡辺（忠）議員

別添資料第 1 回本宮市議会市民との意見交換会（会場で配布）により、議会構成、定例会、臨時会の審議の概要、会派制の導入と政務活動費について報告を行う。

《質疑 要旨》

問（市民） 会派制を導入したが、普通は代表質問があると思うが、現在どうなっているのか。

答 渡辺（忠）議員 現在は行っていない

問（市民） それでは会派制の意味がないのではないかと。議員の考え方はどうなっているのか。

答 渡辺（忠）議員 現在、会派結成要件を四月より 3 人から 2 人に変えようという話になっている。

問（市民） 昨日のチラシでみらい創和会の報告が入っていた。議会だよりで対応するべきものではないのか。政務活動費を使っているが。

答 渡辺（忠）議員 議会だよりは内容がある程度決まっています、全体の報告をするものである。

問（市民） 会派で行ったことの報告は、ひとりでも可能なのか。

答 根本議員 公党に所属している議員は一名から会派結成可能。活動費は議員個々でもらえる。そのため一人でも報告などを出せる。

答 作田議長 現在の制度では常任委員会はその所管事項しか調査できない。会派制だと自由に調査できる。もちろん使っていいものと悪いものの調査はしっかりして、余ったものは返すことになる。会派制は同じ考えを持った議員が集まって活動することが一義である。今は始まったばかりでこれからまだ工夫していく。

意見交換会に入る

根本議員から説明が入る

問（市民） 市長と議員両方が出てきて、市長は市長の立場で議会は議会の立場で発言し交換会を行ってはどうか。地方自治は行政と議会の両輪で行っていくものであると考える。特に議員は自分の地区だけでなくもっと多くの場に顔をだして市民の意見を吸収すべき。

答 根本議員 執行者は予算の決定する機関、議会はそれをチェックする機関、考え方も違う中で行ってもメリットよりデメリットが大きい。ご意見はありがたく受け止める。

テーマを議会だよりについてに移す

発言

答弁

無し

その他の意見交換に移す

問（市民） 市の財政状況はどのようになっているのか。

答 根本議員 合併時には多くの借金があった。当時 399 億円の借財があったが、現在 314 億円に減っている。一年に 12～3 億ずつ返済してきた計算。平成 32 年までには 82 億円くらい返済していくプランである。現在の財政状況は危なげなく執行されていると見ていいと考える。前市長のときには県から 30 億円を借り受けたがそれは 32 年よりあとに返済する予定。また工業団地関係でも県の公社から 6 億円と振興基金 38 億円程借りているが、こちらも含め堅実に返済していくようになっている状況である。

答 渡辺（秀）議員 市では財政健全化計画を立てている。公債費率は 32 年までに 10%を切るような健全な財政運営になっている。議会としてもチェックしている。

問（市民） 政務活動費は多くとってバリバリ仕事に生かしていただきたい。少子化問題について、特に和田では急速に進んでいる。なんとかしたいと考えているがなかなかこれといった解決策が見つからない。議会からアドバイスがあればアドバイスいただきたい。また議会ではどのような取り組みを行っているか。また、和田にドリームラインという立派な道路があるが、ただの通過点になっている気がする。工業にも住宅にも利用できる有用な土地がある。議会としては活性化するのにどのようなビジョンをもっているのか。

答 作田議長 結婚率をあげるのが一番大切であると思う。それに合わせて高齢化社会が深刻化してきている。これも合わせて考えて行かなければならない。糠沢では桜を植えて誘客を企画している。県内でも多くのところで行っている。さくら・もみじ等を里親制度のような形で植えていったらどうかとも考えている。

答 渡辺（秀）議員 議会の取り組みとしては、市の総合計画では人口 32000 人を目指しているが、今から手を打たないと実現は難しい。民間の建設会社の意見を取り入れて、今年から行っていく形になってきた。また今議会では保育料の無料化になることになったが、これがどのような形を結ぶのかを見ていく。

問（市民） 少子化問題の中で結婚をするのが難しいという話があったが、結婚している人間は多い。結婚はしているが和田に定住する人間が少ないように感じる。ドリームラインもありいい環境がある、住宅造成と福祉の充実を行うことが大事であると考えます。

答 根本議員 意見をありがたく受け止め、執行部にも申し上げていく。

問（市民） 住宅団地を先に作ったほうがいいというのもっともな意見だと思うが、働くところをつくる方が大事であると考えます。工業団地とまでは言わないが、働こうと思える場所の計画を先に立てるべきではないか。

答 根本議員 住宅施策も企業誘致もどちらも大事である。和田の重要な課題

だと思う。

問（市民） 復興住宅を若い人向けにして、市営住宅の近くに作るべき。ドリームラインも近くにあり通勤にも適している。浪江の避難している方に対しても絆を大切にしてほしい。

本宮市の開発の話が出ているが、本宮市の東側ではどのくらいお金がかかっているのか。五百川駅に 600 万円の看板を作るらしいがなぜか。

答 根本議員 今回、本宮駅周辺開発にあたって特別委員会を設置した。執行部の考えもあると思うが、議会でもしっかり勉強し、チェック、提案をしていくつもりである。

問（市民） なぜ、600 万円の看板を立てるのか。またなぜ今本宮駅開発なのか。駅などは例えば朝 15 分早く来ていただけるようにしていただければ混雑は避けられる。

答 渡辺（秀）議員 本宮駅については、市の基本構想というものがある。その中で自由通路の話がある。それを執行部に好きにされないように、議会としては特別委員会を設置した。五百川の看板については、修正動議が出たが、多数決で否決になった。内容的には市の PR 看板（2M×8M）を設置したいという話であった。

問（市民） 復興住宅について、週に一回は仮設に行っているが、避難している方は今の仮設の場所がいいという話がでている。

ふれあいサロンが各行政区にあるが、二年間赤い羽根募金から寄付を頂いてバスを運行していたが、今年からなくなる。PTA、地区等で使えるバスの確保をお願いしたい。

答 根本議員 要望として受け止める。

問（市民） 駅前開発の話だが、乗降客 5000 人をめざしていたが現在は何人か。

答 根本議員 現在は 3000 人と聞いている。

答 作田議長 5000 人いればバリアフリー化ができるという話であったが、基準が変わり 3000 人でできるようになった。現在は 18 億円の駅舎の方向になっているが、渡り廊下だけでもいいとも考える。

問（市民） 駅の開発の必要性が見えない。

答 根本議員 今回の特別委員会は議長以外の全議員が委員である。そのようなご意見があったということで議会の中でも生かしていく。

問（市民） ふれあいサロンに行く方はバスの利用が望まれている。中古でいいので購入していただきたい。市の職員で運転手一人いれば出来ると思う。五百川駅に 600 万円の看板を作るのなら、バスを購入して欲しい。もちろんサロン以外にも使えると考える。荒井のふれあいプラザは団体での利用が断られた。

答 根本議員 要望として受け止める。執行部と協議していく。ふれあいプラザに関しては、管理者との協議が必要であると考えている。

問（市民） 3人の方に甲状腺異常が出たと新聞に載ったが、市としてどのような対応を行っていくのか。また市は土壌検査をしてくれないが行ってほしい。データをキチンとだして安心できるようにしてほしい。

答 根本議員 要望として受け止める。

問（市民） 子供たちの安心安全、防犯のために、和田地区に防犯灯の設置箇所を増やして欲しい。

答 根本議員 防犯灯は各地区の防犯協議会があり、そこから要望が出てくる形になっていると思う。市長は防犯に対しての意識も強いので順次設置していくと思うが、こちらからも更に要望していく。

◇渡辺（秀）議員 終了の挨拶

[午後 8 時 30 分閉会]